

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年3月18日

事業所名 キッズ倶楽部

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	3	1	扉を取り付け、活動スペースの構造化を図った。	
	2	職員の配置数は適切である	2	9	1		児童発達支援との兼務に伴い職員体制に検討が必要。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	3	バリアフリー化、手すりの設置	玄関のガラス扉の施錠について検討が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	5	5		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	3	0		昨年も保護者アンケートを実施し、業務改善に繋げた。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	6	3		昨年は結果を公表していなかった。今後はホームページにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	6	3		内部監査を実施する予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	2		外部研修を受ける機会を確保していく必要がある。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	4	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	5	1		現在のアセスメントツールを使い続けるのか検討が必要。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	4	2		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	3	0		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	3	1		スケジュールを立て、見通しを持って過ごせるように工夫している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10	2	0	体を動かす活動は集団、課題に取り組む時間は個別など工夫している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	5	4	予定表で確認している。	打ち合わせの時間を確保していく必要がある。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	2	7	3		
	17	9	3	0		
	18	9	3	0	半年に1回モニタリング面談を実施している。	
	19	3	9	0		
関係機関や保護者との連携	20	9	3	0		基本的には児童発達支援管理責任者が出席し、必要時に担当職員も同席している。
	21	7	4	1	送迎時に学校の先生と情報共有を行っている。	
	22	2	9	1		医療的ケアが必要なお子さんは現在通われていないが、かかりつけ医や主治医を把握し対応できる体制は整えている。
	23	4	6	2		
	24	2	8	2		現在該当者がいない。
	25	2	7	3		
	26	0	5	7		
	27	3	6	3		
	28	9	3	0		
29	1	8	3			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	7	4	1		運営規定の説明はしていないが、重要事項説明書にて契約時に説明をしている。
	31	7	5	0		
	32	8	3	1		平成30年11月に第一回目の保護者会を開催した。周知の仕方が不十分だったため今後は出欠確認を行う。
	33	6	6	0		
	34	7	4	1		年3回キッズ倶楽部だよりを発行しているが、発信頻度を増やしていく。
	35	9	3	0		
	36	9	3	0		
非常時等の対応	37	0	4	8		
	38	4	3	5	職員で火災避難訓練、不審者対策訓練を行っている。	保護者に周知する必要がある。
	39	8	3	1		保護者に周知する必要がある。
	40	8	3	1		
	41	1	5	6		
	42	3	6	3		
	43	7	4	1	ヒヤリハットのファイルを共有している。	